

県立病院事業評価委員会からの評価・提言事項

平成 27 年 2 月 3 日
県立病院事業評価委員会

総括的評価

これからの県立病院に問われるのは存在意義や役割となる。これらをしっかりと踏まえて経営計画を策定することが重要になる。

県立宮崎病院再整備については、患者の負担や医療の変化を考えると、全面改築が良いのではないかと。準備をしっかりとしていただき、良い病院を作ってほしい。

個別の提言等

1 宮崎県病院事業経営計画 2015（案）について

経営計画は5ヶ年計画となっているが、医療政策の変化を考えると、もう少し短期間の計画でも良いのではないかと。

経営指標を見たときに、26年度決算見込みを比較し、宮崎病院・延岡病院は現状維持という印象を受ける。病床利用率も各病院ばらつきがある。各病院の状況の違いもあるが、このレベルでいいのか。

（ 経営指標の考え方について、事務局から説明。）

2 県立宮崎病院再整備の検討状況について

資材の高騰や公共工事に係る人手不足が問題にならないか心配である。

病院は街中にあるため、工事期間中の防音対策はしっかりしてほしい。

全面改築することで、様々な問題が解決できるのではないかと。予算が足りなくなるかもしれないので、収支のバランスを考えてほしい。

耐用年数内の電気料・清掃委託料等の諸経費まで含め比較すると、費用面では大きく変わらない。改修案の見えないデメリットまで考えると、結論は出てくるのではないかと。